

<2015年度国際文化学部「FIC オープンセミナー」>

飯田・下伊那の「地域おこし協力隊員」と語るSJ国内研修

法政大学国際文化学部が、2012年度から長野県の飯田・下伊那地方で「スタディ・ジャパン (SJ) 国内研修」を実施し始めて、今年度で4年目になります。

これまでの「SJ国内研修」および事前学習授業「世界とつながる地域の歴史と文化」の歩みを振り返り、外部の目から評価や検討を加える場を、昨年度は「飯田・下伊那の『ふるさと大使』と語る SJ国内研修」という形で実施しました。

今年度は類似のイベントを、地域おこし協力隊員の皆さん（現役または経験者）をお招きして行いたいと思います。

地域おこし協力隊というのは、総務省が実施している制度で、募集をかけている自治体に都会の若者などが出向き、そこに住み着きながら地域の活性化のために貢献する制度です（1年契約で最長3年）。

今回お招きする方々も、もともとは東京などに住んでいましたが、縁あって飯田・下伊那の村や町で暮らすことになり、地域住民たちと日々協力しながら地域おこしに尽力しています。

そうした皆さんの日々の活動や、その中での成果や苦労を向うとともに、協力隊の目から見た本学部の「SJ国内研修」の特徴や課題などを明らかにできればと思います。

学生の皆さんにとっては、国際文化学部が全学の先陣を切って実施している、留学生と一般学生による課題解決型フィールドワークである「SJ国内研修」の実情を知るとともに、自分の将来の職業選択も含めて参考になるのではないかと期待されます。どうぞご参加ください。



地域おこし協力隊員が育てた特産品の鈴ヶ沢ナスを炭火で焼く、法政の留学生と阿南町和合の皆さん

●日時：2015年7月4日（土）14:30～18:15

●会場：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー3階 0300
（JRや地下鉄の「市ヶ谷駅」「飯田橋駅」からともに徒歩約10分）

●内容：

<第1部> 「SJ国内研修」を振り返る 14:30～16:00

- ・事前学習授業「世界とつながる地域の歴史と文化」の内容
- ・これまでの「SJ国内研修」の実施報告
- ・今秋の第4回「SJ国内研修」の予定

<第2部> 地域おこし協力隊の活動を知る 16:15～18:15

参加者：杉本彩子さん（売木村）／飯野悠子さん（阿南町）／井野春香さん（泰阜村）

- ・第1部の法政の実践に対する各協力隊員からのコメント
- ・わが自治体の紹介と地域おこし協力隊員としての活動
- ・会場との質疑応答

* どなたでもご参加できます（無料）。事前申込みは不要です。

法政大学国際文化学部（学部事務：03-3264-9345、jkokusai@hosei.ac.jp）